

事務事業名		塩谷町鳥獣被害対策実施隊設置事業			<input checked="" type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業		
総合計画	政策名	03 産業活性化に向けたまちづくり			所属課	産業振興課	
	施策名	03 農業生産基盤の充実			課長名	和気 剛	
予算科目		会計	款	項	目	事業	
		1	05	01	03		
		事業コード名				関係法令・条例等	鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 平成28 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)	
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 鳥獣被害防止特措法に基づき、町は、対象鳥獣の捕獲等、防護柵の設置その他の被害防止計画(関係機関で協議会を設置し計画書作成予定)に基づく被害防止施策を適切に実施するため鳥獣被害対策実施隊を設置する。</p> <p>実施隊の設置に当たっては、隊員の報酬・公務災害措置を条例で定め、町長が隊員を任命又は指名することの手続きが必要、実施隊員は町職員及び被害防止施策に積極的に取り組むことが見込まれる者(狩猟免許取得者)</p> <p>2 概算事業費 歳入 H28～毎年 国庫補助金2,000,000円 歳出 報酬 日額2,000円×20人×30日=1,200,000円 交付金(協議会又は実施隊) 800,000円</p>					

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)		名称	
実施隊員の確保		ア	実施隊員
有害鳥獣駆除出動回数		イ	有害鳥獣駆除出動回数
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)		名称	
有害鳥獣による農作物の被害額		ア	農作物の被害額
有害鳥獣駆除数		イ	有害鳥獣駆除数
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)		名称	
有害鳥獣による農作物の被害額の減少		ア	減少被害額
有害鳥獣駆除増加頭数		イ	駆除増加頭数
		単位	
			人
			回
			千円
			頭
			千円
			頭

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値	人	20	20	20	20	
		実績値	人	47	71			
イ	目標値	回	600	600	600	600		
	実績値	回	1,200	493				
対象指標	ア	目標値	千円	30,000	28,000	26,000	25,000	
		実績値	千円	31,328	22,441	年度末に調査		
イ	目標値	頭	250	250	250	250		
	実績値	頭	268	554	241			
成果指標	ア	目標値	千円	1,000	2,000	3,000	4,000	
		実績値	千円	8,887	年度末に調査			
イ	目標値	頭	50	50	50	50		
	実績値	頭	286	20				

計画		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円	2,000	2,000	2,000	2,000
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	5	5	5	5
		事業費計(A)	千円	0	2,005	2,005	2,005

実績		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円	1,906	2,000		
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	94	0		
		事業費計(A)	千円	0	2,000	2,000	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	実施隊の設置は町しか行うことが出来ない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり	有害鳥獣を実施する上で実施隊の設置は町しか行うことが出来ない。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	近年、有害鳥獣被害が増大し、農業者等から対策の要望が増加している。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり	シカ・イノシシをはじめとする被害は農産物被害のみならず、人身事故、交通事故、ヒル・マダニを引導するなど多岐にわたり、生活の安心・安全を脅かし、最優先に対応を迫られている。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	国の示した交付金上限を設定	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり	活動経費に対し国の示した交付基準を設定	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	有害鳥獣被害対策を行うことは、農業者全体が対象となる。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり	町内全域で有害鳥獣の生息が確認されるため、有害鳥獣被害対策を行うことは、町民全員が対象となってきた。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 28 年 1 月 4 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 ・実施までの準備・手続き及び運用内容を整理し明確にすること	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 29 年 11 月 30 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	有害鳥獣駆除に関して、猟友会は本来、狩猟を趣向的に行う方々の団体であったが、いつしか有害駆除も依頼され、立ち位置があやふやなまま駆除に従事していただいていた。しかし、有害鳥獣の駆除や対策を目的に設置した塩谷町鳥獣被害対策実施隊の募集したところ、猟友会会員の多くの参加があり、駆除数の増加、被害額の低減につながった。さらには、相談をいただいた農家への対応等が迅速であり、効果的であると住民からの声も上がっている。実施隊員の数の維持確保は、被害対応や駆除頭数にもかかわるので町が大いに関与し、被害低減、生活環境の安心安全に貢献すべきと判断できる。
--	---

(1) 評価結果(今後の方向性) <input checked="" type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評 事業の成果は目標を大きく上回るものであり、今後も事業の効果が期待できるものであることから、同様に実施していく。	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業